

4 プランについて

4 プランについて

令和3年度業務で策定したプラン素案（概要版）に基づき、これまでの検討結果や、広域連携検討会等における水道事業者等の意見も踏まえたプランを策定する。

以下に、プランの目的・位置づけ、策定までのあゆみ等を整理した上で、プランの本編及び概要版の内容は別添に示す。

4.1 プランの目的・位置づけ

4.1.1 目的

本プランは、市町村区域を超えた水道広域化の推進のために必要な施策等について、県としての考え方をとりまとめ、具体的な取組みにつなげることを目的に策定する。

このとき、県民等の水道利用者に、水道事業の将来や県としての考え方を理解していただけるようイラストを用いるなど、できる限り読み易い内容となるように配慮する。

また、本プランの内容は、県議会や市町村等議会に説明等するなど、情報公開にも努めるものとする。

4.1.2 位置づけ

本プランは、「市町村等水道事業者の将来のあり方を最終的に決定するのは、主役である事業者自身である」との基本的な考え方にに基づき、市町村等の水道事業者自らが水道広域化について議論し、実現していくための基礎資料と位置づける。

本プランの内容のうち、具体的な取組みについては、図4.1に記載の「水道基盤強化計画」に引き継ぎ、市町村等各水道事業者において具体化されていくことを予定する。

また、本プランについては、「宮城県水道ビジョン」における「発展的広域化に向けた取組」の部分を見直した上で、より詳細に記述したものとしても位置づけられる。

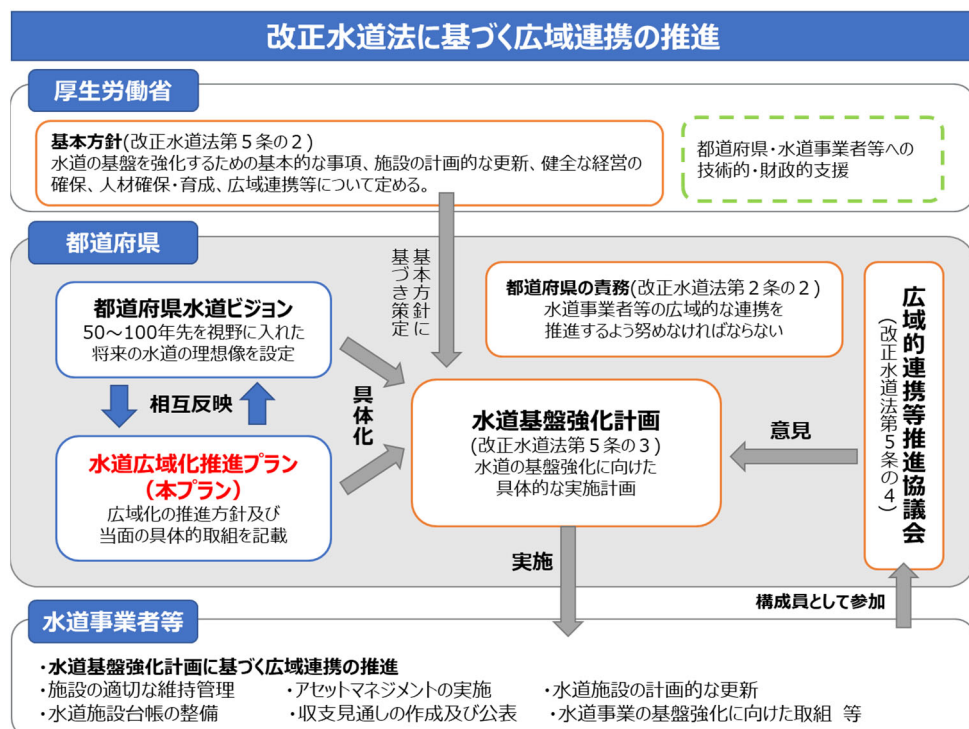


図 4.1 本プランの位置づけ

4 プランについて

4.2 プラン策定までのあゆみ

今年度のプラン策定に向けて、本県では令和元年度以降、毎年度広域連携に係る各種取組みを進めてきた。

各種取組み（業務）についての概要を表 4.1 に示す。

表 4.1 プラン策定までのあゆみ

業務名		取組み概要
R1	水道事業広域連携シミュレーション等調査	・今後の検討の足掛かりとなる基礎情報を把握する目的で、各市町村等事業者の現状や将来の見通し等を把握し、一定の条件下、多様な広域連携シミュレーションを行い、見込まれる効果の最大値を試算。
R2	水道広域化推進プラン策定に係る調査・検討業務	・令和元年度の結果を基に、モデル地区（黒川地区・塩釜地区）における広域連携シミュレーションを実施するとともに、地域ごとの連携策の提案等を通じ、圏域単位での水道広域化の実現可能性について検討。 ・また、各市町村等事業者間の認識の共有を図り、それぞれの意向等を踏まえた「本県における広域連携の将来像」を検討。
R3	水道広域化推進プラン策定に向けた検討推進業務	・令和2年度までの検討結果や、新たに設置した「あり方懇話会」での意見を踏まえながら市町村等事業者と議論を続け、「本県の水道事業の目指すべき姿」や、広域連携に関する取組みの方向性について検討。

4.3 プラン本編及び概要版について

以上の過程を経て策定したプラン本編及び概要版については、別添のとおりとする。